

平成 26 年 第 1 回定期総会・研修会活動報告

10 月 25 日（土）、国立精神神経医療研究センター病院において東京地区会定期総会・研修会が開催されました。

研修会では国立精神・神経医療研究センター病院の遺伝子検査診断室の南成祐先生に「筋疾患の遺伝子的検査の今」と題しての講演および、野田臨床検査専門職からの「今、臨床検査部門に求められること」について講演をしていただきました。

引き続き定期総会では中村副会長の開会の辞に始まり、内野会長の挨拶において東京地区会発足の経緯が語られました。また、来賓として関信支部より峰岸支部長にご挨拶をいただき、手塚理事より支部活動の報告が行われました。浅里技師長が議長に選出され議事進行が行われ、平成 25 年度の経過報告中で内野会長より平成 26 年 2 月 28 日に第 1 回東京地区理事会の開催により東京地区会が正式に発足したこと。また東京病院、災害医療センター、がん研究センター中央病院、精神・神経医療研究センター病院、多摩全生園の 5 施設で組織され会員数は 108 名であることが報告されました。議案審議では平成 26 年度活動報告の中で我々臨床検査技師は従来の迅速かつ正確な医療情報の提供は元より、新しい方法の幅広い臨床検査部門を模索することの必要性が語られ今後の方針が示されました。そして審議が承認され総会は滞りなく行われ無事閉会となりました。

来年度に向けて我々理事一同東京地区会が会員の皆様にとって有益な場となるよう頑張りますのでご協力、ご助言をお願いいたします。（小野事務局長）